

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	徐々にADLが低下して手引き誘導が必要な方、杖歩行の方、車椅子利用の方等、ほぼ全員が、避難時何らかの形で介助が必要である為、迅速・確実に避難させるには、特に夜間帯での災害発生時の避難誘導が気にかかっている。	火災を含む災害発生時、地域住民からも応援してもらえる体制づくりを構築したい。 そして、一人でも『お助け隊』が増えてくれる事を願う。	<p>日常の神社のお参り、散歩や買い物等の機会を増やし、積極的に、町内に出ていく。町民とも双方で、目で見、挨拶を交わし、ひいては話に花が咲く事で、【ホーム・入居者】を理解して頂ければと考える。</p> <p>また、連携している訪問ナースステーションや、近隣在住の看護師経験者に依頼し、『健康相談会(仮称)』を計画する。その上で『健康相談会』の案内を、町内会の掲示板や、回覧板を媒体に、またゴミ集積所に張り出すなどして、近隣の方々が気軽に訪ねて来られる環境作りを心掛け、その時に、来苑者に入居者の状態を理解して頂ければと考える。</p> <p>『認知症カフェ』の会場提供も視野に入れている。</p> <p>閉じこもってばかりではなく、ホームから発信する事が必要かと考える。</p> <p>引き続き町民からの理解を得る為に、近隣住民宅へ、每户配布で避難訓練を周知する。</p>	12か月
2					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。